

□■養成所ニュースプラス第 24 号 2024□■

10 月になると、受験勉強が中だるみになってしまう人が例年出てきます。そんな時には文字を追う勉強だけでなく、有料無料の動画を活用し目先を変えることも工夫になります。どうしても進まないときは、その日はすっぱりやめて、翌日の予備日に回すのも一考です。好きな飲み物を用意して深呼吸、さあ今日も始めますか。

Plus Quiz は、「心理学理論と心理的支援」(現、心理学と心理的支援) から「心理療法」を取りあげます。選ばなかった選択肢のどこを直せば適切になるか、合わせて考えてください。

※前号の前文で、「『地域福祉の対象 DSM-5 の診断』を取りあげます。」とありますが、「DSM-5 の診断」の間違いでした。申し訳ありませんでした。

■Plus Quiz

【第 32 回問題 14】心理療法に関する次の記述のうち、最も適切なものを 1 つ選びなさい。

1. 回想法は、高齢者の自動思考を修正することを目的としている。
2. 応用行動分析は、個人の無意識に焦点を当てて介入を行っている。
3. 認知行動療法は、クライアントの人生を振り返ることでアイデンティティを再確認していく。
4. 森田療法は、不安をあるがままに受け入れられるように支援していく。
5. ブリーフセラピーは、未来よりも過去に焦点を当てて介入を行っている。

正答と解説は最後に記載してあります。

■Yoseijo Info

・(35 期生) 住所変更後、変更届を提出していない場合はご提出ください。

・(35-36 期生) 教育訓練給付制度(専門実践教育訓練)の支給希望の方へ

申請書類一式は原則として、再発行はできませんので、お取り扱いにはご注意ください。

本養成所からの申請書類発行のため、「受給資格者証と公的身分証明書のコピーの提出」及び「レポートの提出」「スクーリングへの出席」「授業料の納入」が必須となります。

※本養成所受講認定基準を満たす支給希望者には、10 月末日付けで、支給申請書類一式を送付いたします。

お手元への到着は 11 月上旬頃の予定です。今しばらくお待ちください。

・受講の手引の表紙裏(表紙の次のページ)に“レポート作成・提出チェックリスト”があります。

レポートの作成・提出の前に必ず確認してください。

■Test Info

国家試験に関する情報をお届けします

・第 37 回国家試験は、令和 7 年 2 月 2 日(日)です。

詳しくはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1381491&c=3246&d=99c7>

※試験時間、試験科目(午前・午後の内訳)が公開されました。

・第 37 回国家試験から適用する社会福祉士国家試験合格基準並びに総試験時間数が公表されました。

詳しくはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1381492&c=3246&d=99c7>

・日本ソーシャルワーク教育学校連盟主催の全国統一模擬試験のご案内です。

詳しくはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1381493&c=3246&d=99c7>

※申し込み受付期間は終了しています。

■Plus Info

その他の情報をお届けします

・日本知的障害者福祉協会では様々な情報を発信しております。

詳しくはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1381494&c=3246&d=99c7>

■Back Number

過去のバックナンバーはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1381495&c=3246&d=99c7>

■Plus Column

年末まで休載します。

【Plus Quiz 正答と解説】

心理学と心理的支援は、従来から出題基準の項目から万遍なく出題されてきました。大項目「人の心と基本的な仕組みと機能」に含まれる中項目からは毎回複数出題されています。他の中項目でも「生涯発達」「心の不適応」「心理アセスメント」「心理療法におけるアセスメントと介入技法の概要」は頻出です。

心理療法については、この10年間毎年出題されている最重要項目です。10年間に出版された心理療法をみると、この3年間に形を変えて出題されています。間違った選択肢も丁寧に確認することで対策することができます。

この科目では新たに「心の発達の基盤」と「健康生成論」が出題基準の中項目に加われました。前者では、認知発達理論、言語発達、アタッチメント理論は過去に出題がありました。「道徳性の発達」については、共通科目テキスト121・122ページで確認しておきましょう。後者は出題されていない項目です。特に、「首尾一貫感覚」の3つの感覚や「レジリエンス」の意味は説明できるようにしてください。共通テキスト2第4章第2節の2、3です。

1. ×自動思考（ふと思い浮かぶ考え）の修正を目的とするのは、認知行動療法です。
2. ×個人の無意識に焦点を当てて介入するのは、フロイトが始めた精神分析的心理療法です。応用行動分析はスキナーが始め、行動心理学を基礎に個人の環境に働きかけ行動を変化しようとする考え方です。
3. ×クライアントの人生を振り返るのは、回想法です。
4. ○森田療法は1920（大正9）年頃に森田正馬が始めた方法です。不安をあってはならないものと捉えることで葛藤が生じ不安を増大させるため、無理に排除せずあるがままに受け入れるようにします。1週間個室でひたすら寝て外界に働きかける意欲を生じさせ、外界と自らの精神的現実をあるがままに受け入れていくという態度を体得させます。
5. ×ブリーフセラピーは短い期間（ブリーフ）で現在と未来に焦点を当て、改善に向けた取り組みを重視するアプローチです。

※掲載内容の転載・再配布はご遠慮ください。

※メール内容に対する個別の対応は行っておりません。

※問い合わせ等については社会福祉士養成所ホームページより行えます。

〒105-0013 東京都港区浜松町 2-7-19 K D X 浜松町ビル 6F

Copyright2016 YoseijoNewsplus